

令和6年度長久手市行政評価票（A票：事業評価表）					対象年度		令和5年度			
事業番号	66	事業名	水辺の緑の回廊事業 (大事業名) 緑道管理事業		担当課		みどりの推進課			
					予算区分（款-項-目-中事業）		－ 水辺の緑の回廊事業			
					決算書ページ		－ ～ － 一般			
I 基本情報	総合計画	基本目標	3	みんなで未来へつなぐ 緑はまちの宝物		事業開始の背景	香流川へ植樹することで、市街地と緑豊かなジブリパーク周辺をつなぐ緑のネットワークの骨格軸として都市の魅力を高めていく。			
		政策	1	万博理念を継承した自然との共生						
		施策	(4)	水辺に親しめる環境の整備						市民・民間事業者との連携協働の可能性
	その他	開始年度	令和3年度							
		終了予定年度	<input type="checkbox"/> 令和5年度	<input checked="" type="checkbox"/> 未定						
		根拠法令等								
	関連計画	香流川緑地基本計画、長久手市緑の基本計画								
	事業の概要・目的	アウトプット（詳細はⅡへ）					アウトカム（詳細はⅢへ）			
		①事業概要 (どんな取組を行うのか)		②活動指標 (取組の進捗をはかるもの。 また、それがどうなるのか)		③中間成果 (①【対象】がどのような 状態に変わるのか)		④最終成果 (大事業の将来像)		
		【対象】 <input checked="" type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 事業者 <input type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> その他 対象の数： 60,000 【事業内容】 緑あふれる・木陰を歩きたくなるまちを目指し、香流川への植樹を行っていきます。		植樹した本数【累計】		香流川沿いに植樹することで、快適な歩行空間を確保する。 (成果指標名) 植樹祭の参加人数		大事業共通 香流川沿いに植樹することで、利用者に憩いの空間を確保する。		

II活動状況（アウトプットの詳細）

エピソード

活動指標名		単位	基準値（2018年） 目標値（2023年） ※AP指標のみ		区分	R5(2023) 年度	R6(2024) 年度	R7(2025) 年度	R8(2026) 年度	R9(2027) 年度	
活動指標	1	【その他指標】 植樹した本数【累計】	本	基準値	-	見込	11	14	-	-	-
				目標値	-	実績	45				
	2			基準値		見込					
				目標値		実績					
	3			基準値		見込					
				目標値		実績					
	4			基準値		見込					
				目標値		実績					
事業開始からの経緯											
愛知県事業である水辺の緑の回廊事業を活用し、平成27年度から香流川沿いに植樹を行っている。 令和3年度は、12本のヤマザクラ、10本のオオシマザクラを植樹した。当初一般参加も募集し植樹祭形式での実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け人数を絞って開催することとなった。参加者としては、長久手小学校区自治会連合会長、北部自治会連合会長、香流川をきれいにする会、岩作区長の各団体長4名に参加いただいた。 令和4年度は、12本のヤマザクラ（内5ヶ所に樹名板設置）を植樹した。参加者としては、令和3年度と同様。 令和5年度は、11本のヤマザクラ（内11箇所）に樹名板設置）を植樹した。新型コロナウイルス感染症の影響も落ち着いてきたため、一般参加を募ったところ3名の参加があった。従来の4団体長＋一般参加3名＝7名に参加いただいた。											
R5(2023)年度の実績、改善したこと。目標が達成できなかった場合はその理由											
令和5年度は県営住宅前の植樹を実施したが、今回の施工範囲の中に未活用の花壇が設置されていたため、植樹と同時に花植えも実施した。今後、市民が主体となり継続的に花植えが実施される事が望ましいと考えるため、県営住宅の住民と協議を進めて行く。											

Ⅲ 事業の成果・課題分析（アウトカムの詳細）	成果指標（CHECK）	成果指標名（中間成果をはかるもの）	単位	成果指標の推移と目標										
		植樹祭の参加人数	人数	3 年度		4 年度		【現状】 5 年度		6 年度		8 年度		
				4		4		7		-		-		
		成果達成状況						指標目標値の根拠						
		D	A. 想定より良い B. 想定どおり C. どちらともいえない D. 想定を下回っている						-					
	評価の理由、分析													
	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、最少人数で実施した。													
	加える変化（ACTION）	今後の方向性（3年～5年先）		今後の方向性の理由										
		A	A. 現状維持 B. 拡充 C. 縮小 D. 廃止		令和6年度も引き続き実施していく。									
		改善ポイント ※今後の方向性がAの場合は記入不要 (成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入)												
見直しの余地のある取組名		見直しの方向性	理由及び具体的な見直しの内容								見直し可能年度			
1			<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止											
2		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止												
3		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止												

IV 費用	令和7年度予算の方向性（PLAN）	R7年度の費用（R6年度比）		3 年間の 推移	(単位：千円)	R6(2024)年度	R5(2023)年度		R4(2022)年度			
		A	A. 現状維持		B. 拡充	事業費	予算	予算	決算	予算	決算	
			C. 縮小		D. 廃止		0	0	0	0	0	
		理由			特定財源	合計額						
		愛知県事業であるため。				(内 国費)						
						(内 県費)						
						(内 諸収入)						
						(内 その他)						
					一般財源							
		積算額			R6年度予算の内訳 ＜細々節名、 予算額、（R5年度予算額）＞							
0												